

平成23年9月29日
青森県農林水産部畜産課

本県の23年産稲わらに含まれる放射性物質の検査結果について

このことについて、国の通知に基づき放射性物質の検査を行ったところ、その全てにおいて放射性物質は検出されませんでした。

記

1 検査結果

(1) 検査日：平成23年9月28日（水）

(2) 結果： (単位：Bq/kg)

No	地域	採取地	検査結果	
			放射性ヨウ素	放射性セシウム
			ヨウ素 131	セシウム 134 及び セシウム 137 の合計
1	三八	南部町	検出されず	検出されず
2	津軽	鱒ヶ沢町	〃	〃
3	上北	十和田市	〃	〃

注1) 分析機関：財団法人 環境科学技術研究所

注2) 検出下限値は、ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 ともに21~34 Bq/kg 程度であった。

【参考】 牧草等の放射性物質の暫定許容値（農林水産省） (単位：Bq/kg)

区分	放射性ヨウ素	放射性セシウム
乳用牛（経産牛及び初回交配以降の牛）	70以下	300以下
肥育牛（出荷前15か月程度以降の牛）	農産物で出荷制限が 行われていない地域 で生産された粗飼料	300以下
その他の牛（乳用牛及び肥育牛以外の牛）		3,000以下

※ 暫定許容値とは、給与される粗飼料中に含まれることが許容される放射性物質の最大値のこと。

2 今後の対応

本県の23年産稲わらについては、その安全性が確認されたので、流通・使用の自粛を解除するとともに、その旨を、市町村、関係団体、畜産農家、稲わら生産者及び取扱業者等に周知します。